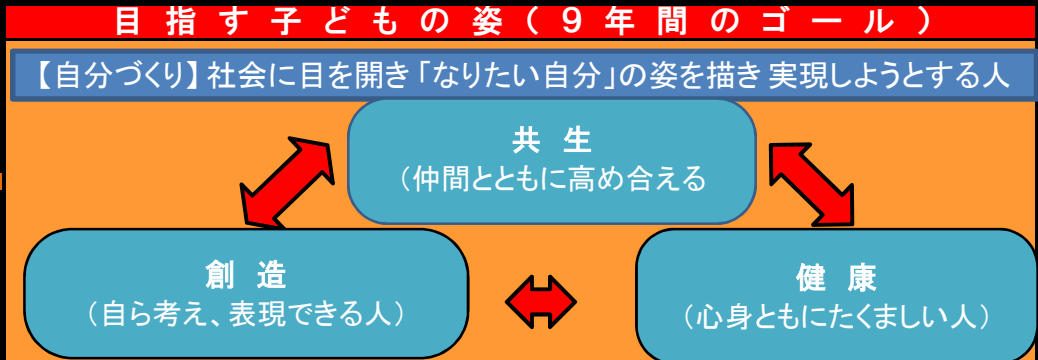


花王スクール学校運営グランドデザイン

須賀川市立第三小・中学校

須賀川市教育委員会 「学校教育目標」
子どもの自尊意識を高め、個性や生き抜く力を育む 学校教育の推進
豊かな心の育成 I ふるさとを愛する心と自他の違いを尊重する心を持ち、 グローバル社会にしなやかに対応し責任ある行動をとれる子ども
確かな学力の育成 II 社会や実生活とのつながりを意識しながら意欲的に 学び合い、考えを深め、問題を解決できる子ども
健やかな体の育成 III 進んで運動に親しみ、体力の向上と健康の保持 増進に努めるとともに、安全に生活できる子ども

小中一貫教育基本構想



21世紀の社会に求められる汎用的能力
21世紀型能力 キャリア教育の基礎的汎用的能力など

小中一貫教育の基本方針
1 教育課程は学習指導要領に準じ、新教科など特例は設けない。
2 教育課程の接続だけでは不十分なところに手立てを講じる。
3 小5～中1までを「移行期」とし、学校間の段差に対応する。
4 小学校は「移行期前」と「移行期」、中学校は「移行期」と「移行期以降」との接続も大切にする。
5 小・中の施設が隣接しているメリットを最大限に生かす。

「自分づくり」のために全教育活動で重視したい主な資質・能力		
「社会に目を開き」の関連	「『なりたい自分』の姿を描き」の関連	「実現しようとする人」の関連
ヒト、モノ、コトに進んで関わろうとする態度	理想や目標をもち、課題を見いだそうとする態度	協同で課題を解決しようとする態度
広い視野 規範意識 思いやりと寛容 コミュニケーション能力	自己肯定感 挑戦の意欲 情報活用力 計画性	意思決定 粘り強さ 協働の意識 問題解決的思考

	小学校のゴール	中学校のゴール
「共生」	友だちと自分の違いを認め合い、ともに力を合わせて行動できる児童	先輩や後輩とも良好な関係を築き、互いを高め合い、目標を成し遂げられる生徒
「創造」	めあてを持ち、友だちの考えに耳を傾けながら筋道を立てて考える児童	課題解決や目標達成のために主体的に交流し合い、深まった考えを表現できる生徒
「健康」	心身の健康や安全に関心を持ち、耐えぬく心と体力を備えた児童	心身の健康や安全に関する知識を深め、自分で管理や回復を図ることができる生徒

互いのPTA役員・学校評議員同士の連携	校長同士のパートナーシップ	互いの分掌機構上の組織間の連携
校長が二人いる一つの学		
学校評価の結果・生徒理解情報の相互検討		

成果の積み上げを重視した9年間のカリキュラムと接続充実のための手立て		
【移行期前】小1～小4	【移行期】小5～中1	【移行期以降】中2～中3
小5以降につながる確実な積み上げ	発達の正しい理解に基づく丁寧なつなぎ	中1からの着実な発展と高校との連携

「系統性に関する基本的な考え方」(別紙)の共有		
つなぐべきところをつなぐ		
学習指導プロジェクト	生活指導プロジェクト	健康指導プロジェクト
1 「協同的な学び」で授業スタイルをつなぎます。 校内研修テーマのすり合せ 合同授業研究会	1 実態を踏まえて段階的な重点価値を設定し、特別の教科道徳を充実させます。 各学年の年間指導計画等の整備 見せ合い授業(道徳)	1 全員参加で指導内容・方法の相互理解に深めます。(再掲) 体育の合同授業 学級活動(健康指導)の見せ合い授業
2 「つなぎ単元(教材)」を設定し重点教科で交流します。 相互授業参観	2 身に付けたい資質・能力を明確にして体験活動を充実させます。 小5からの中学生体験と中学生の社会人体験(ふるさと教育～キャリア教育)	2 文化部も含めた部活動での接続・交流を進めます。 小・中合同練習 小学生の部活動参加
3 全員参加で指導内容・方法の相互理解を深めます。 小中教員交流の計画的な実施	3 いじめや不登校対策を強化します。 欠席情報の共有と中1の支援 学校いじめ防止基本方針の徹底	3 発達段階に応じて運動習慣の形成を図ります。 家庭への啓発 休日等、余暇の善用
4 発達段階に応じて学習習慣の質を高めます。 家庭学習スタンダード 各種検定試験の奨励	4 発達段階に応じて生活基盤の指導を徹底します。 関係機関との連携 地域行事への参加奨励	

学校を縁に地域をつなぐ		
家庭・地域社会との連携		
1 目指す児童生徒像、経営方針等の共有 学校評議員 PTA役員	2 子どもを見守り、育てる体制づくり 見守り隊、明るいまちづくりの会等地域の各種団体 東公民館	3 教育活動への参加、ボランティア協力 花王スクール応援団 本物(地域人材、事業所等)との出会い